

# まつかぜ

新 一 号  
 発行 者  
 平和学園 小・中学校同窓会  
 発行 日  
 平成15年4月20日  
 編集・印刷  
 サイン印刷  
 題 字  
 小学校長 中 山 洋 司

## 同窓会から 友達の輪を



新同窓会長  
 山口洋一郎

しみあつたらどんなに素敵なことか。そして茅ヶ崎市で唯一の私立学校として、卒業生の数は少ないけれど、一人一人の学校を愛する気持ちがある、今の学校や地域社会に何か役に立つことができればどんなに素敵なことか。そして、今はまさに平和学園小学校は定員（25名）を大幅に上回る志願者が続いているということなのです。

私にとって、平和学園小学校での思い出は、今までの人生の中で、もっとも印象深いもの一つになっています。もう40年以上昔の出来事です。記憶も不確かになり、いい思い出だけに整理されているかもしれないが、しかし、平和学園小学校には、卒業生が等しく思い出に残るいくつかの因子があると思います。

まず、林間に点在する校舎。周囲は自然の遊び場だらけ。そして小人数の同級生。ほぼクラス全員の家を知っていて、友達の家も自分の家のように遊びまわっていたのではないのでしょうか。そして、やさしく、時には厳しく指導してくださった先生方。毎日の礼拝。その後の人生において、常に判断の基準となるキリスト教精神。本当に良い学校だったとつくづく思います。

この平和学園卒業生として先輩・同輩・後輩が唯一繋がっているのが平和学園同窓会です。勿論、皆さんはグループや個人的には今までも仲良しだったでしょう。しかし、同じ学び舎で過ごし、同じ松林を通り抜ける風を感じながら過ごしてきた同級生が、もっと親しみ合い助け合い、励ましあい、楽

そのような中、昨年11月、すべての卒業生にはお知らせできなかったが、小学校のバザーの日をホームカミングデーに設定し、校舎の教室をお借りして卒業生の集まれる場所を作りました。三々五々先生・卒業生が訪れ楽しいひと時をすごしていらっしゃいました。

この「まつかぜ」や「ホームカミングデー」を中心に、皆さんの連帯感を深めませんか。

ところで、昨年の春に大石前会長から、会長・世話人をお引き受けいたしました。大石前会長・前世話人の皆様には、長い間ありがとうございました。創立50周年の横浜での同窓会とても印象的でした。築いていただいた同窓会を、さらに我々世代で発展するよう現世話人一同微力ながら精一杯努力したいと決意しております。同窓会の皆さん、平和学園の先生方関係者の皆様、今後ともよろしくお願いたします。

## 平和学園小・中 同窓会長を退任して



前同窓会長  
 大石茂生

同窓会と卒業生の接点は、同窓会誌「まつかぜ」の存在なしには考えられません。平成4年9月創刊以来10年以上続く「まつかぜ」ですが、はじめは学園が費用を負

**ホームカミングデー  
 母校へ集合!!**

小学校のバザーの日を年に一度の同窓会と決めました。  
 詳細は次号に

昨年お集まりの皆さん

担し卒業生へ送られていきましたが、経費節減を理由に発送を同窓会の負担で実施することになったのです。同窓会としても保有資金があるわけで無く窮地に迫られたことを思い出します。

「人生において友人ほど大切なものはない」。年を経、人との出会いを重なるにつれてそんな思いを強くするものです。松林に囲まれた学園で共に学び、遊んだという共通の仲間たちが巣立ちいろいろな経験を積みながら再び同窓の

場に戻ってきた時、代表世話人に相談したところ「平和まつかぜ校友会」（仮称）の名称で同窓会会誌の発行を続けようとの声がかかり改めて同窓会誌「まつかぜ」を創刊することが決まりました。

膨大な通信費を含む諸費用の検出をするためには、名簿を作成して同窓生に購入してもらいそれを資金源にしました。今は残り少なくなつた同窓会資金の中からこの「まつかぜ」が今も続けて同窓生の元に届けられていることを思うと非常に嬉しい限りです。

さて、昨年3月に新同窓会長山口洋一郎君にバトンタッチをしました。代表世話人も一新し、今後の活躍に大いに期待を掛けています。同窓会の基準は、学年単位のクラス会がどれだけ活発かということですが、その代表が世話人となり同窓会の企画や運営に携わっているのです。クラス会が実施されていないケースもありますが、これからは折に触れてクラス会開催のチャンスを提供しながら一度同窓会へ戻ってきて欲しいと思います。

1500人を超える同窓生がおりながら年会費ゼロでは積極的な活動はできません。世話人の皆様の協力を得ながら年会費の徴収が必要ではないでしょうか。印刷・通信費だけでも何十万円かの費用がかかります。会費を支払ってでも同窓会に入りたいというような魅力ある同窓会づくりを目指してぜひ頑張ってください。

われわれ同窓生が一丸となって、自分たちが過ごした楽しかった子供時代の恩返しのためにもぜひ母校の発展に協力しましょう。



学園長 夏村 充

フリー・ライターよろしく、早速一筆に及び、スラスラつと原稿を仕上げ、編集の岡田さんに、サツ！と格好よくお渡ししようと思いましたが、そこで熱慮反省。私が「平和学園小学校や中学校の校長を勤めました」と申ししても、全く影が薄く、「エッ、そうなの？」と、皆さんの記憶にもなくびつくりなさることでしょう。

それでも小学校同窓会長・山口洋一郎さんが、一級建築士として現在の「グレーニアホール」を始め、職員室など、腕を振るつてくださいましたときの、ワンポイント校長、記憶におありでしょうか？さて、そこで我が学園大自慢！！そちらです！本館を始め、体育館や空中歩廊などその大部分が、卒業生の設計！と言つて、通称「鉄砲道」を挟んで南側に、近々中学校の校舎が建てられようとしています。建築の総合計画策定中ですが、先ずは中学校の建物からと、「建学の精神」から「建築の哲学」を抽出し、これを形にすべく、大いに工夫を凝らしているところです。教育の主体は児童・生徒です。ですから「一人一人を大切に！」は、改めて申すまでもなく校是であり、「学校はあまり大きくない方がよい」とおっしゃる、創立者、

村島婦之先生のご忠告どおり、規模校であり、創立当時のように幼・小・中・高一貫の共学校としてキリスト教教育を行う学園、二〇〇二年度で学園の組織構造的な再構築を終えたところです。

近年、幼稚園から学園の小学校へ、そして小学校から中学・高校へと、暫時目に見えて内部進学者が増えてきています。それに呼応するかのようには、各学部の同窓会や、学園全体の卒業生を網羅した、「校友会」もすでに組織されています。本当に感謝なことですよ。

幼稚園は伝統の「自由保育」。小学校は基礎基本を大切に、「本物学習」で、造形や金管・打楽器・合唱の音楽教育を、中学・高校は進路準備学習を主体に、平和教育と進路学習を推し進める「総合学習」や「国際理解教育」を！とこれまたただ今轟進中。同窓生として、平和学園を見守り、お祈り下さい。

まつかせ



小学校長 中山 洋 司

拝啓、同窓生の皆様ごきげんいかがですか。皆様には、ますますご健勝でご活躍されていること存じます。私は、本園で小学校長と幼稚園長を兼任しております中山と申します。早いもので本園に赴任して5年が過ぎようとしております。同窓生の皆様には、日頃大

変お世話になつていられるにもかかわらず、ご無沙汰ばかりしておりますことを、この紙面をお借りしてお詫び申し上げます。

不易流行という言葉があります。本校も時代の流れに沿って、この言葉に当てはまるのが多々ございます。不易の部分では、温かな家族的な雰囲気の中で個々の営みがゆつたりとなされていること。賀川豊彦理事長が礼拝説教された演台で、いまでも毎日児童礼拝が守られていること。全校の児童が互いに名前呼び合えるかかわりの深さなどは、よき伝統として引き継がれております。時代に沿って変化してきた流行の部分は、ま

ず教育内容が新しい教育過程に沿って創られた『平和学園小学校プラン』で、日々の実践がなされていることです。その中で本校独自の内容としては、チャレンジ学習（読み・書き・計算の基礎学習）・生活総合学習（六学年は卒業論文・選択音楽と選択造形（専門家による選択学習：高学年）などがあげられます。

しかし、その根本に流れているのは、創立以来大切に培われてきた、一人一人の個性を大切にすること。教育実践をよりいっそう具体化したものにすぎません。おかげさまでここ三年間は、第一次選考で定数に満ち、神様の豊かな恵みに感謝する日々です。そして、平和学園を愛してくださる皆様のおかげと感謝しております。同窓生の皆様には、ぜひ小学校にお寄りください。お待ちしております。主の御恵みが豊かに注がれ、ますますご活躍されますよう

にと祈っております。

自然教室とははじめ

横山 哲夫

今は山中湖だそうですが、始めは御殿場の青少年会館という所でやっていました。ハイキングは乙女峠でしたが、そのうち金時山まで足をのぼすようになりました。山小屋の金時娘というのがクリスチャンで、いつも歓迎してくれました。今はもうお婆さんになつちゃつて、娘さんが二代目をやっています。帰る道、ゴルフ場を突つ切つた所で、道の下に排水用の土管が埋めてあつて、そこをくぐり抜けるのがちよつとしたスリルでした。長さは10メートルもなかつたでしょうが、四つんばいになつて這つていくうち、真ん中あたりになると真つ暗になつて、後も前もなんにも見えなくなるのです。「こわいけど、ついて来る？」と言つて、いつも五、六人もぐりこんでやっています。あれをおぼえている人があるでしょうか。退職する少し前、エジプトに行つて、ピラミッドの中に入ったことがありますが、石段をかなり上がった所で突然停電して、なんにも見えなくなつてしまいました。恐怖のあまり心臓はドキドキしてくるし、どうな

ことかと心配でした。地獄というのがこんな所だったから、絶対行きたくない、イエスさま信じて天国へ行かなくちゃと思いましたが、真つ暗闇というのを体験したのは、七十五年の人生でもこの二つだけです。

一期生のおたより

24年卒 塩川友弥子

クアーン、クアーン。松の樹間を縫つて響いてくる鐘の音で、授業が始まり授業が終わる。教室は、砂丘の松林に点在する赤い屋根の瀟洒な建物。まるでお伽噺の世界である。このお伽の国の夏休みの教室で、部屋いっぱい蚤たちがダンスをし、歌っていたことがあつた。もう決して見ることができないであろう貴重な光景であつた。終戦後間もない、教科書も満足にない頃であつたのだが、先生方には大変恵まれていた。それぞれに持ち味を発揮され、すばらしい授業を展開してくださつた。例えば、歴史を担当された校長の村島先生は、舌をペロリと出されて、「ペルリ」を印象づけられたり、東京国立博物館では埴輪を前にして熱く語られたが、この時見た埴輪の愛らしい姿は、今でも脳裏に焼き付いている。後に、私が学芸員としての仕事や研究に当たることになったのは、この時の学習が根っ子になつていっている。物質的には窮乏の時代であつたが、すばらしい環境の学舎（まなびや）で、優れた先生方のご薫陶を得られた平和学園時代は、いつまでも私の心の財産であり、誇りである。最後に、平和学園は当初女学校として開講されたが、昭和22年度からは、新しい教育制度の施行に伴い男女共学の中学校となつた。それで第一期生は、女性だけであることを記しておきたい。(注) Perry は当初ペリリと表記されていた。小学校の固定歴史教科書でも、大正九年まではペリリの表記となつていいた。なお、戦後の一、二年は、女学校・中学校用歴史教科書は無かつた。



# 先生方のおたより

昨年11月バザーの日ホームカミングデーのご案内の返信にお書き下さった先生方の近況です

## 飯野 義子 先生

みなさんお元気ですか。私は腰痛と足痛で残念ながら出席できません。ホームカミングデーをつくって下さって、ありがとうございます。昔の仲間が集まって楽しいひとときがもてますよう祈っています。

昭和二十三年(一九四八年)食

## 五十嵐 礼子 先生

べるもの、着るものの乏しい頃(村島先生、賀川先生に身近に接していただいた頃)が一番なつかしい思い出です。まだ若かったので自分なりの理想に心をうばわれて、受ける生徒への心配りが足りなかつた、今も思っています。ごめんなさい。この一月下旬から関節の病気で外出ができなくなりましたので残念です。欠席させていただきます。

岡崎 晃 先生

三十一年在任した大船教会の牧師を十年前に辞め、今は「神奈川教区巡回教師」というのが私の身分です。四十五年前、平塚教会副牧師と兼任で始めた平和学園の講師は、私の若いエネルギーを発散することが出来た有難い仕事でした。ほんの暫くのつもりが、大塚先生から「宗教主任」を仰せつかったばかりに、結局十八年もお世話になりました。その後、縁あってフェリス女学院短期大学及び大学でも講師を勤め、今年三月定年まで二十四年間「キリスト教学」を教えてきました。四月からは同大学の生涯学習プログラムのオーブンカレッジで聖書の講座を担当し

ています。受講大歓迎です。

## 福島 光夫 先生

小生正月が来ると七十六才。その昔中高に高齢の福島という先生がおられ、二人福島なので区別するためその先生をオールド福島、小生二十五才、そのためヤング福島と呼ばれた時代。しかし今や頭と髭に霜をいたたくオールド福島となりました。まさに詩編九十篇にある通り、「人生の年月は瞬間に時は過ぎ、わたしたちは飛び去ります。」それだけに日々を大切にしたいと思っています。

## 真能 敦子 先生

十五年間住んでいました別府を離れ、小郡に転居して二年半が過ぎました。昨年九月に主人が天国に召され、子供も恵まれなかつた私はひとりぼっちになりました。一年が過ぎてやっとひとりの生活にも慣れ、これからの人生何か生きがいを見つけてなければと今模索中です。遠くに住んでいるせい、卒業生のみなさんの情報もなかなか伝わって来ないので中には異例の抜擢をうけ世界を股にかけて活躍している方もあるとか。三十年、四十年前の幼かつた顔を思い浮かべながら喜んでおります。私は心も体もすっかり老人の仲間入り。老化すると言ふことはこういうことかと思ひ知らされておる毎日です。盛会をお祈りいたしております。

## 三橋 富子 先生

この度なつかしい平和学園小学校からの同窓会のお知らせを頂き心より嬉しく存じます。久しぶりに皆様にお会いできるのが楽しみです。私が平和学園を辞めてから早十年あまり、時の経つのが早いのに戸惑いを感じます。でも平和に在職していた時の方がもつと長

かつた：と自分で自分の心を慰めている今日この頃です。二十五年間も平和で働かせて頂いた事は何より幸せでした。その間、大勢の生徒の入学・卒業を見送らせて頂き、これも又楽しい良い経験、体験をして私自身の貴重な勉強となりました。心から深く感謝しております。平和は私の第二の故郷です。平和学園小学校がずっと長く益々発展するよう願ってやみません。そして卒業生の皆さん、平和で学んだ事を誇りに、又その精神をずっと人生の中で持ち続けて社会でも良い泉の源となるよう祈っています。

## 今城 圭子 先生

私は退職してから十一年目になりました。現在は息子家族と一緒に住んでいます。中一、小五、小二の三人の男の子のおおあちゃんです、毎日孫達の勉強を見てると今の学校教育の内容の低下が心配になります。これからの子供は、日本の将来はどうなるのだろうかと心配しています。老化防止のためにコーラスやリズム体操などに参加して楽しんでおります。

## 川島 則子 先生

嬉しいお便り有難くお受けしました。平和学園では、教えられることばかりの私でした。在職中、結婚式を挙げました。辻堂駅近くの茅ヶ崎東教会(当時小和田教会)にあれから四十数年、毎週礼拝に出席しております。卒業生お一人お一人、世の光地の塩となられておられますことを信じ祈ります。また、厳しい時代にあつて、一つに集い、なぐさめ合い励まし合うことが出来ますように、祈ります。私が初めて平和学園の門を入りました時、講堂から讚美歌が聞こえてきました。忘れられません。

## 森 育代 先生

皆様お元気ですか。秋も深まりバザーの季節が来ましたね。楽しい手作り作品が思い出されます。私は去年から公立小学校の非常勤講師をやっています。現在は川崎市麻生区の小学校で二年生を担当しています。楽しい一日になりますように。

「主我を愛す主は強ければ我弱くもおそれはあらず」平和学園と小学校同窓会の上に神の恵みいよいよ豊かでありますようにと祈ります。

## 加藤 由美 先生

昨年竹内剛也君よりタイムカプセルのご案内を頂き平和学園の皆様のことを懐かしく思い出してました。良いお父さん、良いお母さんになっていくことを聞き、ほんとうに嬉しく思っています。「若かつたから」ではすまされないようないたらない教師であつたことが、年々苦しく思い出されます。情けなく、申し訳無く思いますが、皆様のご健康でお幸せであるということで、救われております。わたくしはとうとう老眼鏡をするようになりましたが、足腰はきわめてピンピンしています。

## 北村 君枝 先生

短期間の勤務でしたのに思い出多い学校でした。そして近くに居て来て、皆さんの消息が時々届くこともあり、同窓会にも出席できるととても嬉しく思っております。この頃教会に向かつて平和学園の先、鉄砲道を西へ走ることが多くなり、人ごみの中でも平和学園の顔を探していることに気づきます。私が出会った人たち、今いちはん働さざかりでたいへんな時代を生きておられる方達に思いを馳せ、エールを送っています。

## 森 育代 先生

皆様が健康でお幸せであること、救われております。わたくしはとうとう老眼鏡をするようになりましたが、足腰はきわめてピンピンしています。

早いものでいつの間にか八三歳になりました。足腰も弱くなり、自宅にこもつた生活をしています。十五年前学園を退職し、校長として六年勤めさせていただきました。校長職はクラス担任はありませんので、退職後お一人お一人との接点が少なくて残念です。時々みんな立派に成人され、社会人となり、家庭を持ち、それぞれお幸せに過ごされているお姿を想像して下さいます。同窓会の皆様のご多幸をお祈りいたします。

## 酒井 聰 先生

一九九三年退職して一休みしてから、障害者、老人福祉のボランティアを数年しました。今日は日曜の教会、月曜の福音コール(藤沢にある宗教音楽の混声合唱団)だけの生活です。

## 錦織 充 先生

平和を退職して、早いもので十年以上になります。今は小学校の教職を退き、東京の郊外東村山で、神学校の教務職員及び音楽講師として働かせて頂いております。二十二才で平和学園に就職した私も先日三十八才になりました。海を見るたび、なつかしい湘南の海岸、そしてマラソン大会、「砂の造形」などを思い起こします。幸い、何人かの教え子たちが今も時折、便りをくれるので、たつた四年間の平和での生活は、私にとつて、かけがえのない宝物のような、思い出として、大切に心に刻まれていきます。現在、職種は違ふものの、平和学園で先輩の先生方や、保護者の方々、そして子どもたちから教わつたたくさんの方が、生かされて、今の私があることを主に感謝する日々です。

## 笠野 欽一 先生

感謝する日々です。

# 卒業生からのおたより

24年卒 吉田吉男(旧姓服部)

9月23日(月)に平和学園の文  
化祭が行われ、校友会の各幹事や  
卒業生の有志が母校に集まりまし  
た。僕たちのクラス・なでしこ会  
(小学校昭和24年卒の第32回生、  
中高第4回生)は当日9名が参加  
しました。行事のたびに残念に思う  
のは、学年を問わずに慕われた木  
下ひろみさん(泉行蔵先生のご長  
女)が98年12月に天に召されたこ  
とです。なお、平和学園校友会は  
小中高の各同窓会をつなぐ期間と  
して、昨年4月に発足致しました。  
交友会の役員は各同窓会から選出  
された方々が担当されています。

27年卒 伊藤俊介

大変お世話になります。米国で  
会社経営を二年間行い病気にわか  
り。今年帰国しました。今は体の  
調整等でゆっくりと過ごしていま  
す。ロサンゼルスは気候が良く、  
一年中雨も少なく穏やかな温度で  
楽しく妻と二人だけで快適に生活  
をしました。回りに日本人も多かつ  
たのですが、テロ以来少なく、さ  
びしくなりました。お元気で。

29年卒 名井敬子(旧姓木村)

私は、93年迄夫の転勤などで、  
茅ヶ崎を離れておりました。その  
後、クラスの御世話係りを石田さ  
んと共に引き受けしております。

29年卒の我が学年は、ひいき目に  
みても、残念ながらもとまりが良  
いとは思えません。創立50周年の  
同窓会への出席も6人と小人数で  
したが、その後この6人とは、コ  
ンサートに出かけたり、二葉鮎(梁  
瀬さん経営)のおいしいお館でお

腹を満たし、帰りには、なつかし  
い学園に立ち寄り、昔話で心も満  
たされたり、また折に触れ、楽し  
いひと時を過ごしております。今  
回のホームカミングデーには、連  
絡の出来る範囲でお誘いしました  
ので、何時もよりは少し賑やかに  
なるのではと、期待しております。  
クラス会当日は、9人もの方  
が集まりました。今まで、あまり  
出席率のよくなかった我がクラス  
としては、うれしい結果となりま  
した。お互い卒業以来という方も  
いらして、話はつきませんでした。  
あたりの景色も懐かし、穏やか  
な時をすごすことができました。  
結局帰宅は晩秋の日もすつかり暮  
れた頃となりました。遠き小学校  
の頃を想い、共に語り、共に喜び  
有意義な一日となりました。

30年卒 乾 桂二

9月23日の平和祭の日にクラス  
の5名が集まりました。我々のク  
ラスは今年還暦(来年3月には全  
員60才になります)なので4月13  
日には、自分たちで還暦を祝う  
為にクラス会をやろうと決めまし  
た。今から行動を起こせばきっと  
多くのクラスメートに集まっても  
らえると思います。頑張ります。

36年卒 池亀晴子

クラスメートだった山下こぬれ  
さんに会いにミラノに行きます。島  
田静子さんと三人の珍道中です。帰っ  
たらまた何人かで集まるつもりです。

37年卒 井口康子

昭和49年から毎年クラス会を開い  
ています。県内だけではなく、遠  
方の人まで楽しみに出席して下さ  
います。28年の間事故や病気で亡  
くなった人も幾人かおり、悲しい

思いもしましたが、今年は卒業して  
初めて出席した人も二人あり、途中  
で転校された方も出席しています。  
今年9月8日にクラス会を開き  
楽しいひとときを過ごしました。  
55年卒 国信朋子

## 小学校の現況等

小学校教諭

32年卒 和田扶実子

「まつかぜ」が又出されること  
になりとても喜んでいきます。この  
季刊誌を通して現在の平和学園小  
学校の様子をお伝えできればと願  
っています。

現在児童数は134名、職員は11  
名です。その他特活や英会話の先生  
方が10名、そして今年より卒業生の  
伊藤美保子さんが小学校にいて色々  
と心配りをして下さっています。  
子ども達はとにかく明るく大き

な声で笑っては実に楽しそうに元  
気に生活しています。このところ  
学校訪問が多く、オープンスクー  
ルなどには見学者も多い状況です。  
一度だけでなく何度も来てくださ  
る方も目立ちます。いらした方々  
がみな同じように「子供たちの目  
が輝いていますね。」と誉めて下  
さいます。そんな事もあって入学  
希望者が多く、今までは考えら  
れない現象が起こっています。募  
集人数を25名にしていますので、  
多くの子ども達をお断りしなければ  
ならないと言っ厳しい現実です。  
年間行事では「ホームカミング  
デー」としての4月29日のプレ  
デーをはじめ、11月3日前後の土  
曜日のバザーなどは変わらず行っ  
ています。9月24日(水)〜26日(金)  
はオープンスクールとなっていま  
すので小学校が懐かしいなと思わ  
れる方はどうぞ覗いて下さって結  
構です。もちろん卒業生としてい  
つでも学校をお訪ねください。12  
月には小中高合同のクリスマス礼  
拝もいたします。連絡をいただけ  
れば日程が決まり次第お知らせい  
たします。どうぞ元氣な小学校を  
覚えてお祈り下さい。

## 平成14年度会計報告

収入	金額	名目	金額
入金	24	名	144,000
入金	2,746	利息等	2,746
入金	36,601	繰越金	36,601
入金	2,154,756	繰越金	2,154,756
合計	2,338,103		
支出	金額	名目	金額
校会費	21,600	校会費	21,600
通信費	35,481	通信費	35,481
甲費	25,000	甲費	25,000
他金	73,500	他金	73,500
合計	2,182,522		
繰越金	2,182,522		
合計	2,338,103		

## 二〇〇三年度学校行事予定

4月18日(金)	イースター礼拝
4月25日(金)	創立記念礼拝
4月29日(火)	プレデー
5月13日(火)	学校説明会・授業参観
7月7日(月)	学校説明会
9月24日(水)	26日(金)
10月11日(土)	オープンスクール・学校説明会
11月1日(土)	運動会
11月2日(日)	バザー
11月16日(日)	市民音楽祭
12月13日(火)	クリスマス礼拝
3月13日(土)	卒業式

## 平和学園小学校児童数

1学年	27人
2学年	27人
3学年	27人
4学年	19人
5学年	21人
6学年	17人
合計	138人

## 児童募集

募集●未定(男女)  
試験日●10月21日  
出願期間●9/24~10/3  
詳細はこちらまで ☎0467-87-1662

## 事務局より

次号のための原稿、ご意見等お寄せ下  
さい。また、現在正確な名簿作りに励ん  
でおります。是非、住所変更等すぐにお  
知らせ下さい。事務局(平和学園小学校内)  
〇四六七(八七)一六六二  
担当/伊藤美保子

## 編集後記

長かった冬も終り、春の訪れの中で、やっ  
と新一号の発行にこぎつきました。初め  
ての編集で右往左往しながら多くの方  
に助けて頂きました。期日までに原稿を  
寄せ下さいました皆様、本当に感謝申  
上げます。いたらない所が多いと思  
います。お許し下さい。岡田枝画子

## 名簿世話代表同窓会小学校

代表	洋一郎 (34年卒)
副代表	桂二司 (30年卒)
会長	倉具幸子 (31年卒)
副会長	津浪雄子 (34年卒)
監事	田枝美保子 (34年卒)
事務	岡藤屋弘康 (37年卒)
広報	高井佐精太 (38年卒)
広報	佐倉細由美 (42年卒)
総務	神内寿美代 (53年卒)
総務	池上桃大 (59年卒)
総務	馬森早苗 (63年卒)
総務	小田穂いずみ (H3年卒)
総務	小田穂いずみ (H11年卒)



新世話人の皆さん(たさきにて)